



わが家のアイドル



西本郷にお住まいの
澤地 和宏さん・幸子さんの

は **ゆず** は **は**
長女 柚葉ちゃん (1歳1か月)

はじめまして 柚葉です。
トマトとバナナが大好き！
いっぱい食べて大きくなろうね。

下田市内の指定文化財

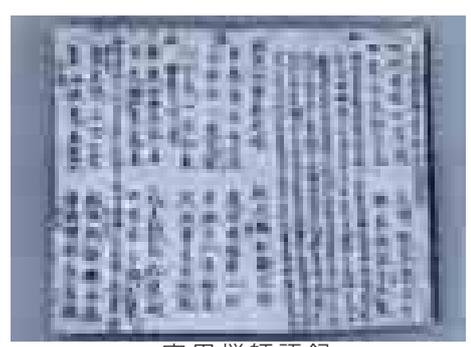
その50

下田市指定文化財(書籍)

寂用禅師語録

所蔵者 横川 太梅寺
昭和60年12月23日指定

横川太梅寺に伝わるこの書物は、戦国時代から江戸時代初期に伊豆・相模と広い範囲で活動した禅僧寂用英順が記した語録(法語や説法を記録したもの)で、地域の歴史を語る重要な史料として下田市の文化財に指定されています。



寂用禅師語録

寂用英順

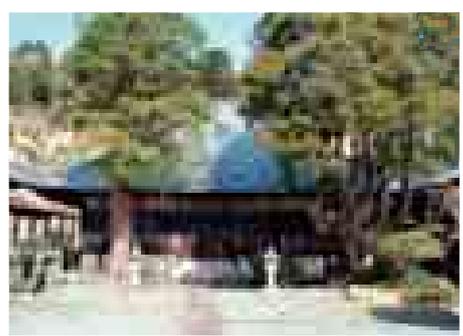
戦国時代の永正13年(1516)に生まれ、江戸時代初期の慶長19年(1614)に

99歳で没した曹洞宗の僧侶です。出身地や僧侶となった経緯は定かではありませんが、英順の師であった実堂宗梅(後の小田原香雲寺四世)に従って南伊豆にやってきたと考えられています。

英順はまず無住だった加増野の草庵(常楽庵、後に常源寺。現廃寺)に入り、しばらくして湊(南伊豆町)に修福寺を開きました。やがて常源寺だけでなく、太梅山深居庵や修福寺、さらに小田原大安寺の住持も務めました。英順は寺の経営だけでなく、船を使って商売を行い、戦国大名後北条氏と接近するなど、僧侶としての活動を超えた奔放な生き方をした人物でした。

寂用禅師語録とは

慶長5年(1600)、英順が85歳の時に完成しました。語録は68編の詩文からなり、多くの語句に英順自身の片仮名混じりの解説がつけられています。内容は、曹洞宗の禅思想や易学、浄土信仰、庚申信仰などの土俗的な信仰に関するもので、中世の地方の僧侶が抱いていた思想や信仰を考える上で貴重な史料とされています。



深居山太梅寺

太梅寺は平安時代末に創建された深居庵がそのはじまりと伝えられています。横川集落を望む山の中腹にあり、戦国時代末期に豊臣秀吉が小田原後北条氏を攻めた折に深居庵での兵士の乱暴を禁じた制札(「安国寺恵瓊制札」市指定文化財)や、幕末から明治にかけて活躍した石工小川清助の代表作である子育て地藏などが残っています。

アクセス

下田駅より松崎方面バス横川バス停下車徒歩10分

問合せ先

教育委員会生涯学習課

☎5055

